



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アゴーラ・ホスピタリティ・グループ

コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) ホーン・チョン・タ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 佐藤 暢樹

TEL 03-3436-1860

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	5,188	121.8	△59	—	△168	—	△208	—
24年12月期第3四半期	2,339	153.8	△99	—	△220	—	△183	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 118百万円 (591.4%) 24年12月期第3四半期 17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△0.76	—
24年12月期第3四半期	△0.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年12月期第3四半期	21,595	—	11,987	—	55.2
24年12月期	16,382	—	11,849	—	72.1

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 11,930百万円 24年12月期 11,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年12月末の配当は未定とさせていただきます。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	63.7	250	—	85	—	△160	—	△0.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	274,158,934 株	24年12月期	274,158,934 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	163,515 株	24年12月期	161,030 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	273,996,366 株	24年12月期3Q	274,000,920 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権によるいわゆるアベノミクスの金融緩和策と財政政策の進捗を背景に、外国為替相場が円安基調に転換するとともに、日経平均株価も上昇が進み、本年9月には2020年の東京オリンピック開催が決まるなど、明るい兆しが見えはじめました。しかしながら、雇用および所得環境には依然として厳しさが残るなど、個人消費は足踏みの状態にあり、引続き予断を許さない状況が続いています。

当社グループにおきましては、宿泊事業において、昨年10月に当社系列ホテルに加わったホテル・アゴーラ リージェンシー堺を運営管理する株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺を前期に連結子会社化したこと等により、前年同四半期比で大幅な増収となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高で5,188百万円（前年同四半期比121.8%増）と大幅に増加しましたが、利益面では、主力の宿泊事業部門において、前期に実施したリブランド等による増収効果の立ち上りが遅れたこと等により、営業損失は59百万円（前年同四半期は営業損失99百万円）となりました。また、営業外費用に豪州の持分法適用関連会社における分譲住宅の販売不振を要因とする投資損失71百万円を計上したこと等により、経常損失は168百万円（前年同四半期は経常損失220百万円）、四半期純損失は208百万円（前年同四半期は四半期純損失183百万円）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業部門におきましては、前期に株式会社アゴーラ・ホテルマネジメント堺を連結子会社化したことが寄与し、売上高は4,463百万円（前年同四半期比154.8%増）と大幅な増加となりましたが、利益面では、前期に実施したリブランド等による増収効果の立ち上りが遅れたため全体として前年同四半期並みの利益水準に止まり、営業損失は88百万円（前年同四半期は営業損失73百万円）となりました。

② 住宅等不動産開発事業

住宅等不動産開発事業部門におきましては、引続き入居率の維持確保と適宜適切な賃貸家賃の見直しに努めた結果、売上高はほぼ前年同四半期並みの214百万円（前年同四半期比0.1%減）となり、前期のリファイナンスに伴う一時費用が解消したことにより、営業利益は100百万円（前年同四半期比24.9%増）となりました。

③ 霊園事業

霊園事業部門におきましては、販売代理店網の拡充等、積極的な営業活動を展開した結果、売上高は482百万円（前年同四半期比42.0%増）と大幅な増加となり、営業利益は63百万円（前年同四半期比167.6%増）となりました。

④ 証券投資事業

証券投資事業部門におきましては、期末にかけ進んだ円安および香港株式市場の株安の影響等により、当社が保有・運用する外貨建ての外国証券に係る為替差益および評価損が発生したことにより、営業利益は27百万円（前年同四半期比15.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて31.8%増加し、21,595百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて18.1%増加し、8,745百万円となりました。これは、現金及び預金が1,043百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて43.0%増加し12,718百万円となりました。これは、建物及び構築物が3,885百万円、土地が1,799百万円増加したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて112.0%増加し、9,608百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、1,687百万円となりました。これは、未払費用が138百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて180.7%増加し、7,920百万円となりました。これは、匿名組合出資預り金が2,837百万円、長期借入金が2,277百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、11,987百万円となりました。これは、利益剰余金が208百万円減少し、為替換算調整勘定が328百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績見通しにつきましては、現時点で平成25年8月12日に公表いたしました平成25年12月期の業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	534,320	1,578,187
売掛金	383,761	320,090
有価証券	256,773	334,377
貯蔵品	78,521	45,904
開発事業等支出金	5,687,239	5,981,637
その他	465,337	488,184
貸倒引当金	△2,448	△3,225
流動資産合計	7,403,505	8,745,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	303,822	4,189,163
車両運搬具(純額)	6,849	6,796
工具、器具及び備品(純額)	47,173	98,802
土地	1,555,520	3,355,313
住宅用賃貸不動産(純額)	4,733,120	4,703,033
有形固定資産合計	6,646,486	12,353,110
無形固定資産		
借地権	5,000	5,000
商標権	199	178
ソフトウェア	20,335	17,329
電話加入権	364	364
無形固定資産合計	25,898	22,872
投資その他の資産		
投資有価証券	1,309,094	53,633
長期貸付金	253,430	206,869
長期未収入金	595,580	—
その他	70,660	86,474
貸倒引当金	△4,200	△4,180
投資その他の資産合計	2,224,564	342,796
固定資産合計	8,896,950	12,718,780
繰延資産	81,668	131,244
資産合計	16,382,123	21,595,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,268	222,484
1年内返済予定の長期借入金	104,721	214,606
未払金	732,130	721,691
未払費用	179,929	41,467
未払法人税等	62,832	35,093
短期借入金	—	60,000
賞与引当金	28,000	33,427
ポイント引当金	7,006	572
その他	343,402	358,542
流動負債合計	1,711,290	1,687,884
固定負債		
長期借入金	1,942,982	4,220,124
匿名組合出資預り金	200,000	3,037,766
退職給付引当金	3,064	—
長期預り保証金	619,403	612,812
繰延税金負債	13,366	8,306
その他	42,360	41,211
固定負債合計	2,821,177	7,920,221
負債合計	4,532,467	9,608,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,415,834	11,415,834
資本剰余金	5,105,960	5,105,960
利益剰余金	△2,563,447	△2,771,742
自己株式	△12,104	△12,201
株主資本合計	13,946,243	13,737,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,222	—
為替換算調整勘定	△2,135,837	△1,807,134
その他の包括利益累計額合計	△2,134,615	△1,807,134
新株予約権	29,096	47,701
少数株主持分	8,932	8,656
純資産合計	11,849,656	11,987,074
負債純資産合計	16,382,123	21,595,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,339,074	5,188,421
売上原価	2,076,734	4,709,047
売上総利益	262,339	479,374
販売費及び一般管理費	361,497	538,741
営業損失(△)	△99,157	△59,367
営業外収益		
受取利息	730	160
受取配当金	173	21
為替差益	20,357	25,778
消費税等免税益	27,437	43,844
匿名組合投資利益	1,327	—
その他	8,323	22,127
営業外収益合計	58,350	91,932
営業外費用		
支払利息	40,187	65,746
資金調達費用	62,677	17,919
持分法による投資損失	75,335	71,221
開業費償却	—	33,454
その他	1,640	13,061
営業外費用合計	179,840	201,402
経常損失(△)	△220,648	△168,838
特別利益		
受取補償金	2,814	—
新株予約権戻入益	47,952	348
投資有価証券売却益	8,177	1,817
特別利益合計	58,944	2,166
特別損失		
固定資産除却損	371	3,097
特別損失合計	371	3,097
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失(△)	△162,075	△169,769
匿名組合損益分配額	—	△1,407
税金等調整前四半期純損失(△)	△162,075	△168,362
法人税、住民税及び事業税	28,813	42,120
法人税等調整額	△4,291	△1,928
法人税等合計	24,521	40,192
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△186,597	△208,554
少数株主損失(△)	△2,637	△290
四半期純損失(△)	△183,960	△208,264

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△186,597	△208,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,551	△1,222
為替換算調整勘定	205,350	328,703
その他の包括利益合計	203,798	327,481
四半期包括利益	17,201	118,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,838	119,217
少数株主に係る四半期包括利益	△2,637	△290

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,751,519	214,737	339,963	32,854	2,339,074	—	2,339,074
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,751,519	214,737	339,963	32,854	2,339,074	—	2,339,074
セグメント利益又は損失(△)	△73,209	80,338	23,690	32,854	63,674	△162,832	△99,157

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△162,832千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	宿泊事業	住宅等不動産 開発事業	霊園事業	証券投資事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,463,381	214,619	482,786	27,634	5,188,421	—	5,188,421
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,463,381	214,619	482,786	27,634	5,188,421	—	5,188,421
セグメント利益又は損失(△)	△88,461	100,304	63,395	27,634	102,872	△162,239	△59,367

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△162,239千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。